

市町村建設計画「緑あふれる新県都プラン」

# 平成22年度実施計画

平成22年 4 月

秋 田 市

## 目次

計画の概要	2
「まちづくり」別計画	
1 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり	3
2 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり	9
3 安心して健康に過ごす助け合いのまちづくり	11
4 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり	14
5 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり	16
進捗状況	18

---

## 計画の概要

---

### 1 策定の趣旨

新市の特性を最大限に活かしつつ、市域全体の均衡ある発展と速やかな一体性の確保と市民生活のさらなる向上をはかり、「しあわせ実感 緑の健康文化都市」を実現していくため、「緑あふれる新県都プラン」に掲載された主要事業をまとめ、これを示すものです。

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成17年度から27年度までの11年間とし、前期6年（平成17年度～22年度）、後期5年（平成23年度～27年度）に区分しています。

### 3 計画の構成と対象事業

「緑あふれる新県都プラン」の5つの「まちづくり」にある施策ごとに、市が実施主体となって行う事業や市が費用負担・補助を行う政策的事業を掲載しています。

今回は、同プランに掲載する事業のうち、22年度当初に予算化された50事業について掲載しています。

### 4 計画の実効性と弾力性の確保

計画の推進にあたっては、社会経済状況や市民の行政需要、財政状況等の変化に適切に対応しながら進行管理を行い、計画の実効性と弾力性を確保することが必要です。このため、本計画は、毎年度の事業計画（予算編成）を踏まえて改訂を行っていきます。

---

## 「まちづくり」別計画

---

- 1 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり
- 2 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり
- 3 安心して健康にすごす助け合いのまちづくり
- 4 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり
- 5 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまち</b>			6,391,819	577,699
<b>第1節 土地利用計画と都市計画の推進</b>			19,157	0
第6次秋田市総合都市計画策定事業 【新秋田市都市計画マスタープラン策定事業】	住民の意向を反映させながら新市における都市の将来像や整備方針を明確にし、都市づくりの具体的な将来ビジョンの確立とともに、地域別のあるべき市街地像、課題に対応した整備方針や諸施設の計画等を定める。策定に当たっては、土地利用に関する関連計画である秋田市国土利用計画の策定と同時一体的に行う。	市民の意向調査を行い、全体構想、地域別構想、実現化方針を設定する。	19,157	0
<b>第2節 交通体系の整備</b>			280,777	0
地方バス路線維持対策事業 【地方バス路線維持対策事業】	生活バス路線は、日常の市民生活を支える移動手段として重要であることから、バス事業者に対し運行にかかる経費の一部を補助し、市民の移動手段の確保を図る。	国や県と協調し、「秋田市生活バス路線維持費補助金」により69系統について路線バス事業者に対して助成する。	81,237	0
バス交通総合改善事業、バス交通総合改善事業（東部線） 【バス交通総合改善事業】	利用者が年々減少し、路線の維持が困難な状況となっている郊外部の不採算路線の廃止にあわせ、代替交通であるマイタウン・バス運行を実施するとともに、地域特性や利用状況に応じた公共交通形態の再構築を行い、市民の移動手段の確保と充実を図る。	秋田市マイタウン・バス西部線、北部線、南部線、東部線を運行する。	197,264	0
都市施設計画調査 【総合交通体系調査事業】	「総合交通戦略」において道路を中心としたハード整備の方針・推進体制の策定を行う。また、都市計画法に基づく権利制限を解除できるものについて廃止等の変更手続きに着手するため、長期未着手等の都市計画道路の詳細な路線検討を行い、廃止も含めた効率的な道路網整備を行う。	広小路牛島線について詳細な見直し調査・検討などを行う。	2,276	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>第3節 道路網の整備</b>			645,259	354,799
<b>幹線道路整備事業 南部中央線</b> 【幹線道路整備事業 南部中央線】	国道13号の交通負荷を軽減し、交通渋滞を緩和するとともに、河辺・雄和地区と市中心部を結ぶ幹線道路として南部中央線を整備する。(南部中央線・茨島工区 長さ=750m 幅=20m JR羽越本線横断)	市街地以外の都市計画道路南部中央線を整備するとともに、工事に起因して発生した損害を補償する。	60,757	55,757
<b>街路事業 土崎駅前線</b> 【街路事業 土崎駅前線】	JR土崎駅の交通結節点としての機能を十分に発揮させるとともに、鉄道交通の利便性向上を図るため、駅周辺の狭隘な道路を拡幅整備する。(土崎駅前線 長さ=348m 幅=18m 電線類地中化、歩道融雪 駅前広場 面積=4,500㎡ 駐輪場 面積=350㎡)	市街地の都市計画道路土崎駅前線を整備するとともに、工事に起因する損害の補償を実施する。	16,800	13,800
<b>幹線道路整備事業 割山南浜線</b> 【街路事業 割山南浜線】	秋田大橋から雄物川と並行し割山地区を結ぶ幹線道路であり、平成21年度供用予定の南部中央線と連絡させることで、幹線道路のネットワーク効果を拡大させるとともに、国道13号の渋滞対策にも効果を発揮する。(割山南浜線・茨島工区 長さ=620m 幅=16m 旧雄物川横断)	市街地以外の都市計画道路割山南浜線を整備するとともに、事業に支障となる建物、工作物等の補償を実施する。	179,500	156,000
<b>道路改良事業 東萱森線</b> 【道路改良事業 東萱森線】	河辺岩見字萱森地内の県道河辺阿仁線と河辺岩見字東地内の主要地方道秋田岩見船岡線を結ぶバス路線について、急勾配、急カーブ等の解消を図るため、道路改良工事を進める。	道路改良工事を実施するとともに、工事のための用地買収および移転補償を行う。	10,000	0
<b>道路改良事業 鹿野戸安養寺線</b> 【道路改良事業 鹿野戸安養寺線】	雄和椿川地内の主要地方道秋田雄和本荘線から県立中央公園、秋田空港等へ連絡する路線の急勾配、歪曲区間を解消する道路改良工事を進める。	道路改良工事を実施するとともに、工事のための用地買収および移転補償を行う。	74,800	34,800
<b>橋りょう整備事業 本田橋</b> 【橋梁整備事業 本田妙法線本田橋】	一級河川岩見川に架かる本田橋は、雄和田草川地区と四ツ小屋末戸松本、御所野地区とを結ぶ重要な橋であるが、鋼材の腐食による断面減少等に伴い、耐荷力が低下し、安全性が確保できないことから、架け替えを行う。	旧橋を撤去し新橋の下部工の工事を実施する。	222,600	71,600

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>県施行合併支援関係道路整備事業負担金</b>  <b>【県施行街路事業負担金(合併支援道路関連)】</b>	合併支援に資する県施行の街路事業に対し、整備費用の一部を負担する。(秋田中央道路、川尻広面線、千秋広面線、新屋土崎線、秋田駅東中央線)	県が施行する4路線の都市計画道路の整備費用の一部を負担する。 秋田中央道路(H9-H19) 長さ=2,550m 幅=9.75m 川尻広面線(寺町)(H6-H24) 長さ=344m 幅=25m 千秋広面線(手形)(H8-H23) 長さ=540m 幅=25-35m 新屋土崎線(山王) (H15-H24) 長さ=980m 幅=22.2-30m	80,802	22,842
<b>第4節 市街地の開発整備</b>				
<b>中通一丁目地区市街地再開発事業</b>  <b>【市街地再開発事業】</b>	千秋公園と一体となった街なかオアシスを開発コンセプトに、文化と交流の拠点形成を目指す組合施行による第一種市街地再開発事業。具体的には、商業施設、広場、大規模公共駐車場、公共公益施設、居住施設を整備する。市は、広場、(仮称)秋田市にぎわい交流館、駐車場を取得する。	中通一丁目地区市街地再開発組合に対し、再開発事業関連経費(既存建築物の解体・除却、補償、建築工事等)を助成する。また、広場用地を取得する。	4,597,983	183,400
<b>秋田駅東第三地区土地区画整理事業</b>  <b>【土地区画整理事業 秋田駅東第三地区】</b>	秋田駅周辺にふさわしい街並みを形成するため、道路・公園等の都市基盤の整備と住宅の整序を行い、健全な市街地の形成を図る。(地区面積45.5ha 事業施行期間 H5年度~H24年度 都市計画道路 8路線 公園整備 7箇所 区画道路 100路線 建物移転 1,097戸)	都市計画道路3路線、区画道路9路線、特殊道路2路線および砂利道整備3路線を整備するほか、29戸に対しての建物移転補償や用地(700㎡)取得を行う。	2,895,783	0
			1,378,988	162,600

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
秋田駅西北地区土地区画整理事業 【土地区画整理事業 秋田駅西北地区】	本地区は駅前地区でありながら、商・住等が混在する低密度の土地利用となっている。このため、本事業によって道路・公園等の都市基盤施設の整備と敷地の整序を行い、駅東西間の一体化を図るとともに、駅周辺にふさわしい良好かつ健全な市街地の形成を図る。(地区面積 5.8ha 事業施行期間 H6年度～H26年度 都市計画道路 3路線 公園整備 1箇所 区画道路 11路線 建物移転 63戸)	都市計画道路 1 路線および区画道路 2 路線の整備ならびに 3 戸に対する建物移転補償を実施する。	323,212	20,800
<b>第5節 住宅環境の整備</b>			213	0
秋田市住宅マスタープラン推進事業等 【住宅マスタープラン推進事業】	旧市域を対象とした「新秋田市住宅マスタープラン」について、河辺・雄和地域も一体として運用し、公共賃貸住宅の入居者募集に関する情報提供、住宅の耐震診断・改修に関する研修会や住宅のバリアフリー化を促進するための講習会を開催する。	民間住宅の耐震化およびマンションの適正管理に関する講習会等を行う。	213	0
<b>第6節 上・下水道の整備</b>			818,340	39,500
河辺地域浄水場施設改良事業 【浄水場施設改良事業(河辺地域)】	河辺地域における安定給水確保のため、和田、松淵、俄沢各浄水場および各配水池等の施設整備を計画的に行う。	松淵浄水場の薬品注入設備修繕および和田配水池の防水補修工事を行う。	16,170	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
雄和地域送配水管等整備事業 【仁井田・雄和送水施設整備事業】	雄和地域における安全な水道水の安定供給を図るため、四ツ小屋から雄和浄水場までの送水管布設と雄和ポンプ場の築造、および雄和浄水場から清水木浄水場までの送水管布設を実施する。 送水管布設 ・四ツ小屋～雄和浄水場 口径250 長さ=12,836m ・雄和浄水場～清水木浄水場 口径200 長さ=11,241m 送水管布設替 ・雄和浄水場～高区配水場 口径150 長さ=1,720m 配水管布設替 ・雄和平尾鳥地内ほか 口径75・150 長さ=924m 雄和ポンプ場築造	雄和浄水場～雄和左手子(長さ=7,822m)の送配水管を整備するとともに、雄和ポンプ場を築造する。	630,670	0
公共下水道管渠建設事業(河辺地域) 【公共下水道管渠建設事業(河辺地域)】	汚水管整備を進め、水洗化の普及拡大を図る。(式田、坂本、石川、神内、宮崎地区)	坂本、式田地区の汚水面を整備する。	171,500	39,500
第8節 環境の保全と新エネルギーの活用			29,744	0
河辺・雄和地区自然環境調査事業 【自然環境保全事業】	市民や事業者等への情報提供や開発行為の審査、自然環境の現況把握を行うために、21年度に秋・冬調査、22年度に春・夏調査を実施する。 22年度の春・夏調査の調査項目は、以下の6項目。 魚類(主要河川10地点：1回、ため池・沼等10地点：1回) 底生生物(主要河川12地点：1回、ため池・沼等12地点：1回) 植物(植物相調査30地区、群落組成調査20箇所) 昆虫類(15地点：1回) 鳥類(10地点：1回) 両生・爬虫・哺乳類(15地点：1回)	河辺・雄和地区の自然環境調査業務(春・夏期調査)を実施するとともに、前年度の秋・冬期調査結果と併せ報告書を作成する。	28,665	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>自然環境保全経費</b>  <b>【自然環境保全事業】</b>	秋田市自然環境保全条例に基づき、市民や事業者等への情報提供や開発行為の審査、自然環境の現況把握を行うために、種々の調査や企画を実施するとともに、市民活動計画を支援するなど、自然環境保護の推進を図る。	市民・事業者等への情報提供や開発行為の審査、自然環境の現況把握、市民活動計画の周知・支援等を行う。	1,079	0
<b>第9節 資源循環システムの充実</b>				
<b>家庭系ごみ分別推進事業（ごみ減量・分別井戸端会議）</b>  <b>【一般廃棄物減量事業（ごみダイエット作戦）】</b>	各家庭においてごみの分別や減量を実践してもらうため、各地域においてごみに関するタウンミーティング（ごみ減量・分別井戸端会議）を開催する。	各地域の市民団体を対象に、市のごみの現状に関する情報を発信するとともに、ごみの減量・リサイクルについて市民と意見交換を行う「ごみ減量・分別井戸端会議」を開催する。	346	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち</b>			630,613	0
<b>第2節 貿易の振興</b>			3,596	0
<b>対岸経済交流事業</b>			3,596	0
【海外市場開拓支援事業】	ロシア極東にコーディネーターを配置し、これまでのロシア商談会等の継続的なフォローアップ・新規輸出商品の開拓を図る。 また、県内企業の輸出有望商品を発掘し、各商品の有望輸出先調査等を行うことにより、確実な商談機会を設定する。	ロシア極東へのコーディネーター配置や対岸諸国への市場開拓支援により、企業間取引の拡大を図る。		
<b>第7節 農林水産業の振興と市場流通システムの整備</b>			627,017	0
<b>農林水産業振興戦略会議運営経費</b>			1,045	0
【(仮称)秋田市農林水産業振興戦略会議事業】	農林水産業振興戦略会議を開催し、「農林水産業・農村振興基本計画」および農林水産業の振興施策に関する審議、提言等を得る。	「農林水産業・農村振興基本計画」および実施計画の策定に関する審議、提言を得る。		
<b>金足農業集落排水事業</b>			474,100	0
【農業集落排水事業 金足地区】	金足地区農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。	農業集落排水の管路・付帯工事(長さ=2,300m、マンホールポンプ3箇所、舗装)および排水処理施設の基礎土木工事を実施する。		
<b>浄化槽整備推進事業</b>			31,058	0
【農業集落排水事業 河辺鶴養地区】	公共下水道および農業集落排水などの集合処理区域以外の個別処理区域を対象に、市が設置し維持管理まで行う浄化槽事業を実施し、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図る。18年度に現地調査を行い基本計画を策定し、農業集落排水事業から整備手法を変更した雄和神ヶ村地区、雄和繋地区、河辺鶴養地区を含め、19年度から10年間で約800基の浄化槽を整備する。	計画的な浄化槽の整備を実施する。(浄化槽設置 20基、放流管路 長さ=40m、放流ポンプ 4箇所)		

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>新波農業集落排水事業</b> <b>【農業集落排水事業 雄和新波地区】</b>	新波污水处理施設の老朽化に伴い、水槽および機械・電気設備の改築を行う。	昭和63年12月に供用開始した新波処理区において、団体営調査設計事業（維持適正化）を実施する。	3,100	0
<b>県営経営体育成基盤整備事業</b> <b>【県営経営体育成基盤整備事業】</b>	県が実施する土地改良施設等整備事業費の一部を市が負担する。	河辺赤平、雄和銅屋、雄和左手子、雄和平沢の整備事業費を負担する。	53,300	0
<b>県営ため池等整備事業</b> <b>【県営ため池等整備事業】</b>	県が実施する土地改良施設等整備事業費の一部を市が負担する。	仁井田堰 2 期、金足片田、雄和釜ヶ沢、河辺芝野、河辺寺田の整備事業費を負担する。	64,414	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>第3章 安心して健康にすごす助け合いのまち</b>			2,191,527	3,734
<b>第1節 地域福祉の推進</b>			3,055	0
障害者プラン推進経費、高齢者プラン推進経費	けやきのまちのしあわせプランに位置づけられている各部門計画に基づき、各種福祉サービスの提供体制の充実とサービス利用の促進を図る。	障害者プランおよび高齢者プランに基づき、各種施策に取り組む。	1,227	0
【けやきのまちのしあわせプラン推進事業】				
地域福祉計画推進経費	概ね小学校区単位の市内38地区ごとに地区ワークショップを開催し、地域全体が連携して地域福祉に取り組む態勢の構築を図る。また、秋田市災害時要援護者の避難支援プランに基づき、一人ひとりの状況に対応した個別計画を地区ごとに順次作成する。	第2次秋田市地域福祉計画重点事業を推進するための具体的取組として、地域福祉活動の担い手育成を図るための取組を行う。また、災害時要援護者の避難支援プラン個別計画作成にあたり、避難支援対象者名簿を作成するとともに、モデル地区において個別計画作成の取組等を支援する。	1,828	0
【地域福祉計画推進事業】				
<b>第3節 障害者保健・福祉の充実</b>			131,377	0
障害福祉サービスセンター改修経費	障がい者の方が地域社会で生活できるようにするための施設整備として、老朽化の著しい秋田市障害福祉サービスセンター「ふきのとう」の改修工事を行う。	老朽化が特に著しい屋上屋根の防水改修工事を行う。	5,715	0
【障害者福祉施設整備推進事業】				

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>障害者交通費補助事業</b> 【身体・知的障害者交通費補助事業】	身体・知的障がい児(者)の社会参加促進のため、バス運賃を無料化する。また、在宅重度身体障がい者の通院時タクシー代の一部を助成する。	身体・知的障がい児(者)の社会参加促進のため、バス運賃を無料化する。また、在宅重度身体障がい者の通院時タクシー代の一部を助成する。	114,870	0
<b>精神障害者交通費補助事業</b> 【精神障害者交通費補助事業】	精神障がい者の継続的な通院と生活基盤の安定を図るため、通院や通所する際に市内路線バスを利用する精神障害者保健福祉手帳所持者を対象に、福祉特別乗車証を発行し、バス運賃を無料化する。	精神障害者保健福祉手帳を所持し、通院や通所のために市内路線バスを利用する者に対し、福祉特別乗車証を発行し、バス運賃を無料化する。	10,792	0
<b>第4節 母子保健・児童福祉の充実</b>			47,699	0
<b>児童福祉施設等整備推進事業</b> 【児童福祉施設整備推進事業】	老朽化した公立保育所等の入所児童の処遇改善を図るため、施設・設備整備を行う。	河辺保育所(仮称)整備事業および公立保育所環境改善事業(土崎、港北保育所)を実施する。	47,699	0
<b>第5節 保健体制の充実</b>			10,928	0
<b>健康あきた市21計画推進事業</b> 【健康あきた市21計画推進事業】	広報、マスメディアおよびホームページ等を活用した啓発活動に努めるとともに、健康づくり運動を市民運動として定着させるため、健康づくりに関する情報提供や健康フォーラムの開催等により、市民の健康づくりに対する意識の醸成を図る。また、計画最終年度である22年度の改定に向けた準備として、市民栄養調査、市民アンケート等の諸調査を実施する。	計画の最終評価年度として、各種調査結果や統計資料等をもとに、健康あきた市21計画推進会議委員との協議を経て、評価報告書を作成する。	2,164	0
<b>健康増進情報システム関係経費</b> 【健康増進情報システム統合事業】	健康増進情報システムに乳幼児健診、予防接種、がん検診等の受診結果等を入力し、個人データの経年的管理や各種集計を行う。また、健康情報を一元管理することにより、受診対象者の把握や未受診者への受診勧奨に活用するほか、地域住民の健康動向を把握し、保健指導の充実、疾病の改善を図る。	乳幼児健診、予防接種、がん検診等の受診結果等を入力したシステムを活用し、地域住民の健康状況を経年的に把握し、保健指導の充実および疾病の予防を図る。	8,764	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>第6節 衛生体制の充実</b>			1,880,716	3,734
斎場改築事業 【斎場改築事業】	将来の火葬需要への対応と施設・設備の老朽化に伴い斎場の改築を行う。	建物本体工事を継続するとともに給排水衛生設備工事等を行う。	1,880,716	3,734
<b>第7節 医療・救急体制の充実</b>			41,961	0
救急業務高度化推進事業（河辺・雄和） 【救急業務高度化推進事業】	増大する救急需要に対して救急体制の強化を図るとともに、救急救命士の養成と高度救命処置に必要な資器材等を整備する。また、市民による応急手当の実施を推進し救命率の向上を図る。	広面高規格救急自動車および高度救命用資器材を更新し、救急救命士2名および救急隊員5名を養成する。また、救急救命士の処置拡大に伴う追加講習に救急救命士を派遣する。	41,961	0
<b>第9節 消防力と防災体制の強化</b>			75,791	0
車両整備経費(河辺・雄和) 【車両整備事業】	消防力の強化と機械装備の近代化、安全性の確保のため、消防車両のうち、経年劣化した消防車両を計画的に更新整備する。	新屋第二小隊および牛島小隊の消防車両を更新整備する。	75,791	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまち</b>			750,418	49,952
<b>第1節 学校教育の充実</b>			656,144	49,952
小・中学校増改築等事業（河辺） 【小・中学校増改築等事業（河辺地域）】	老朽化が著しい校舎、屋体を改築する。	21年度に引き続き岩見三内小学校の校舎・体育館を建設する。	536,055	0
小・中学校増改築等事業（雄和） 【小・中学校増改築等事業（雄和地域）】	老朽化が著しい校舎、屋体を計画的に改築する。	基本・実施設計後、雄和中の校舎・体育館の改築に着手する。	49,952	49,952
小・中学校大規模改造事業（河辺） 【小・中学校大規模改造事業（河辺地域）】	経年により発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧とともに、諸室の再配置等の大規模改造を行うことにより、教育環境の改善を図る。併せて建物の耐震性および耐久性の確保を図る。	21年度に引き続き岩見三内中の大規模改造を実施する。	61,621	0
小・中学校情報教育環境整備事業（河辺） 【小・中学校情報教育環境整備事業（河辺地域）】	14年度から実施の新学習指導要領において、情報社会に主体的に対応できる資質や能力の育成が重要視され、そのための手段として教育用パソコンの活用が位置づけられており、さらなる教育環境整備を進めるものである。	教育用パソコン等を継続使用する。	5,039	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>小・中学校情報教育環境整備事業 (雄和)</b>  <b>【小・中学校情報教育環境整備事業(雄和 地域)】</b>	14年度から実施の新学習指導要領において、情報社会に主体的に対応できる資質や能力の育成が重要視され、そのための手段として教育用パソコンの活用が位置づけられており、さらなる教育環境整備を進めるものである。	教育用パソコン等を継続使用する。	3,477	0
<b>第3節 社会教育の充実</b>			94,274	0
<b>児童館等整備事業</b>  <b>【児童館等整備事業】</b>	児童館等が整備されていない小学校区に児童館等を整備し、未設置学区を解消する。また、既設児童館等の大規模改修・改築については、建設されてからの経過年数、本体の老朽化に伴う損傷の程度に応じて改修、改築計画を進める。	岩見三内小学校、河辺小学校、大正寺小学校内への児童室整備および保戸野児童館増改築を実施する。	94,274	0

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまち</b>			2,606,978	1,061
<b>第6節 行政改革の推進と行政能力の強化</b>			2,606,978	1,061
<b>第11次秋田市総合計画推進経費</b>	第11次秋田市総合計画の着実な推進のため、期間計画の19-21期計画の進捗管理を行う。	期間計画の19-21期計画を1年延長し、進捗管理を実施する。	140	0
【総合計画策定および推進事業】				
<b>庁舎建設検討経費</b>	現庁舎が抱える老朽化、狭隘化、分散化という諸問題を解消するとともに、合併を契機とした市民が利用しやすい新庁舎の建設に向けた検討を行う。	庁舎整備の方針を公表するとともに、当該方針に沿った基本構想を策定する。	1,000	0
【庁舎・支所等総合整備事業 秋田市庁舎新築事業】				
<b>北部市民サービスセンター（仮称）整備事業</b>	住民自治の充実をめざす市民協働と都市内地域分権の拠点施設の一つとなる（仮称）北部市民サービスセンターについて、支所機能、住民自治施設、体育館等の機能を複合化するとともに、周辺道路整備を進めるなど総合的に整備する。	本体工事を継続するとともに、周辺道路環境整備や物品購入などの開設準備を進める。	2,464,408	1,061
【庁舎・支所等総合整備事業（仮称）北部市民サービスセンター整備事業】				
<b>電子入札運営事業</b>	入札制度の公平性、透明性の向上を図るため、平成21年度に更新した電子入札システムを運用する。電子入札においては、インターネット上で入札情報の提供や指名業者への通知、業者の入札書の提出を行うとともに、入札結果を自動的に開札し公表する。	電子入札システムの安定的な運用を図る。	32,778	0
【電子入札システム構築事業】				

事業名	全体事業概要	22年度事業概要	H22当初予算 (単位：千円)	うちH21年度 からの繰越額 (単位：千円)
<b>戸籍システム運用事業</b> <b>【戸籍事務等電算化事業】</b>	<p>本庁、土崎支所、西部市民サービスセンターおよび両市民センターにおいて、和紙原本等で保管している戸籍をすべてデータベース化し（現在戸籍は文字入力、除籍はイメージ保存）、コンピュータにより管理・運用する。電算化前は、届出があると戸籍を保管している管轄へ届書を送送し記載処理を行っているものが、電算化後は、連絡所や地域センターを除く全ての戸籍を取り扱う窓口で記載を行えるため、より迅速な対応が可能となる。また、駅東サービスセンターでの戸籍事務の取扱や自動交付機からの謄抄本の交付も可能となるものである。</p>	<p>引き続き、電算処理システムによる戸籍事務や自動交付機からの謄抄本交付を実施する。</p>	104,606	0
<b>緑あふれるまちづくり基金積立金</b> <b>【合併市町村振興基金設置事業】</b>	<p>合併後の新市における市民の連携の強化および地域振興のため、緑あふれるまちづくり基金への積立を行う。</p>	<p>基金の運用益を積み立てる。</p>	4,046	0

## 進捗状況

	事業数	事業費
「緑あふれる新県都プラン」に掲載する主要事業	119	950億円( 1)
22年度実施計画	50	125億7,135万5千円
(再掲：河辺地域関係事業)	(10)	(10億4,215万5千円)
(再掲：雄和地域関係事業)	(10)	(12億2,636万9千円)
参考		
21年度実施事業(うち終了事業5)	(53)	(57億9,787万円)

1 「緑あふれる新県都プラン」策定時の財政計画における平成17年度～27年度の事業費の合計金額であり、各年度の事業計画の決定状況によって変動します。

21年度末現在の進捗状況は、事業数ベースでの着手率は79%になります(参考値)。